

公益社団法人日本地球惑星科学連合

平成 29 年度第 5 回理事会議事録

1. 開催日時 平成 30 年 1 月 23 日 (火)

15 時 00 分から 18 時 15 分

2. 開催場所 東京大学理学部 3 号館 320 号室

(東京都文京区本郷 7-3-1)

3. 出席者 理事数 19 名

出席理事 13 名 (定足数 10 名 会議成立)

出席監事 2 名

オブザーバー 12 名

4. 議長 理事 川幡 穂高

5. 出席役員

理事 川幡 穂高

理事 田近 英一

理事 中村 正人

理事 古村 孝志

理事 井出 哲

理事 小口 高

理事 小口 千明

理事 奥村 晃史

理事 北 和之 (ZOOM 出席)

理事 倉本 圭 (ZOOM 出席)

理事 津田 敏隆 (ZOOM 出席)

理事 中村 昭子

理事 浜野 洋三

監事 鈴木 善和

監事 氷見山 幸夫

6. 出席オブザーバー

宇宙惑星科学セクションボードプレジデント 高橋 幸弘

大気水圏科学セクションプレジデント 蒲生 俊敬

大気水圏科学セクションバイスプレジデント 杉田 倫明 (ZOOM 出席)

大気水圏科学セクションバイスプレジデント 佐藤 薫

大気水圏科学セクション幹事 川合 義美

固体地球科学セクションプレジデント 大谷 栄治

学協会長会議幹事会（議長・日本第四紀学会） 齋藤 文紀
学協会長会議幹事会（日本地球化学会） 高橋 嘉夫
学協会長会議幹事会（水文・水資源学会） 樋口 篤志
学協会長会議幹事会（日本古生物学会） 真鍋 真
学協会長会議幹事会（地球電磁気・地球惑星圏学会） 渡部 重十
情報システム委員 村山 泰啓

15時00分、理事の定数に足る出席を確認後、会長川幡穂高は理事会が成立することを宣言し、第5回理事会を開始した。インターネット電話 ZOOM を利用し、遠隔地から参加する津田敏隆理事、北和之理事、倉本圭理事、杉田倫明バイスプレジデントおよび渡部重十学協会長会議幹事会委員が審議に参加できることを確認した。

【前回議事録確認】

第4回理事会議事録について、確認し、了承された。

7. 審議事項

第1号議案 新入会員承認の件

定款第8条2項の会員の入会の定めに従い、新規入会者の入会を承認した。

第2号議案 賛助会員承認の件

定款第8条2項の会員の入会の定めに従い、新規入会者の入会を承認した。

第3号議案 委員会委員承認の件

大会運営委員会、環境災害対応委員会、教育国際対応小委員会、学生優秀発表賞小委員会の新規委員を承認した。

第4号議案 国際金星会議 2018 第74回藤原セミナー「あかつき」が拓く金星の科学協賛の件

国際金星会議 2018 第74回藤原セミナーへの協賛について LOC の林委員より詳細の説明があった。検討のうえ、協賛を承認した。

第5号議案 「成層圏・対流圏の諸過程と気候影響研究」に関する2018年総会協賛の件

「成層圏・対流圏の諸気候と気候影響研究」に関する2018年総会への協賛について検討のうえ、協賛を承認した。

なお第4号第5号議案ともに、予算についてはセクション間で調節しセクション全体の予算を現在の予算案程度に抑えた案を作成し、財務委員会へ提出することとなった。将来的なセクションの活動費については、中長期的に議論を継続して行くことが望ましいとの意見があった。

第6号議案 慶弔規則の改訂について

慶弔規則の改訂について審議した。改訂を承認した。

第 7 号議案 その他（男女共同参画学協会連絡会の分担金の見直しについて）

男女共同参画学協会より男女共同参画学協会連絡会分担金の見直しに関する打診があった。審議の結果、B 案（分担金一律 1.5 倍）、2 案（17 期から分担金を改正する）を提案することを承認した。

8. 報告事項

(1) 川幡穂高代表理事職務報告

前回理事会以降の活動の概要について報告があった。

(2) 田近英一理事（広報普及担当）職務報告

広報普及委員会の活動報告があった。東京大学理学部の活動とタイアップして「高校生のための冬休み講座」を開催した。盛況であり参加者の反応も好評であった旨報告があった。

(3) 中村正人理事（顕彰担当）職務報告

顕彰関連活動について報告があった。

三宅賞候補者の募集について説明があった。

フェロー候補者の応募状況について説明があった。

規則に基づきフェロー審査委員会、三宅賞審査委員会の各委員長の選任について中村理事から提案があり、これを承認した。

大会時の学生旅費助成制度候補者を募集中である旨報告があった。

今年度は西田賞の募集・審査のない年となったが、第 2 回（2016 年度に募集審査、2017 年大会で表彰）受賞者に 2018 年大会時にスペシャルセミナーを依頼する。

(4) 古村孝志理事（総務担当）職務報告

前回理事会以降に連合が承認した協賛・後援について報告があった。

選挙の進行状況について報告があった。現在理事候補者選挙の期間中であり、1 月 31 日より 2 月 15 日まで投票期間となる。

2016 年度に発出した、東北大学災害科学国際研究所の共同利用・共同拠点化に向けたサポートレターについて、同研究所今村文彦所長より審査結果についての報告があった旨報告があった。

前回（第 4 回）理事会第 3 号議案にて、リソスフェア・マントルのダイナミクスに関する第 2 回アジア・太平洋ワークショップ共催申請について、固体地球惑星科学セクション及びグローバル戦略委員会から、連合が主体的に共催に貢献する内容を記した改定案が提出され、報告があり、了承した。

(5) 北和之理事報告（財務担当）職務報告

財務委員会の活動について報告があった。12 月 26 日に開催した財務委員会に関する報告があった。

委員の任期満了に伴い、セクションに新委員の推薦を依頼することを予定している。
平成30年度予算収支書案について報告があり、引き続き検討することとした。
また、中長期の財政状況の検討も含め、情報共有をして、意見交換を行った。

(6) 倉本圭理事（ジャーナル担当）職務報告

ジャーナルの出版状況について報告があった。順調に出版・編集を行っている。WoS採録誌からの被引用数を試算すると2,545となるので、最初のIFはこれに近い数字が期待できる。EPSや、JpGUロゴを掲載しているジャーナルも含めて引き続き今後も「日本の地球惑星科学コミュニティからの国際情報発信」をキーワードとしてプロモーションしてゆく。

(7) 浜野洋三理事（大会運営担当）職務報告

大会の準備状況について報告があった。現在は投稿募集期間中である。セッション一覧、日程表が示された。

展示ブースは今回98ブースに大幅増加しているため、周知・勧誘の協力をしてほしい旨呼びかけがあった。

(8) グローバル戦略委員会活動報告

グローバル戦略委員会の活動報告があった。AGU Fall Meeting 2017への出展報告があった。連合のブースは好評であった。2019年には日本の関連機関との合同出展が検討されており、その先駆けとして、2018年のFall Meetingでは各関連機関が連合ブースの周りに予約している。また期間中のイベント、参加したミーティングについて説明があった。

(9) 教育検討委員会活動報告

教育検討委員会の活動について報告があった。

第10回日本地学オリンピック予選の開催状況の報告、また本戦の開催予定、並びに国際大会の開催予定について報告があった。

教育国際対応小委員会の活動について報告があった。10月13日～14日に静岡大学等にて、アースサイエンスウィーク・ジャパン実行委員会が主催するEarth Science Week Japanに協力する。現在企画段階である。

(10) 情報システム委員会活動報告

情報システム委員会の活動について報告があった。情報システム委員会規則改定の検討状況について報告があった。これまでの各システムの開発運用に加え研究情報やデータの利用、流通およびオープンサイエンス等についての審議を任務とすること、それに伴って名称を改称すること（現状案は「情報委員会」）、また任期を他の委員会にあわせ2年とすることを検討している。

AGUのESSIセクションへ参加すること等、研究データ関連の話題について情報共有を行った。

(11) そのほか

中長期的な観点より、日本地球惑星科学連合の財政及び地球惑星科学に関する情報活動について情報共有のために議論を行った。

毎日新聞のwebニュースに「日本地球惑星科学連合からの要望書」に言及のある記事が掲載されたが、連合から要望書を提出した事実はないので、引き続き事実関係を確認することとした。

議長は以上をもってすべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。(18時15分)

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席役員は次に記名・押印する。(捺印欄配布時省略)

平成30年1月23日

公益社団法人日本地球惑星科学連合 第5回理事会

出席理事 川幡 穂高 印

出席理事 田近 英一 印

出席理事 中村 正人 印

出席理事 古村 孝志 印

出席理事 井出 哲 印

出席理事 小口 高 印

出席理事 小口 千明 印

出席理事 奥村 晃史 印

出席理事 北 和之 印

出席理事 倉本 圭 印

出席理事 津田 敏隆 印

出席理事 中村 昭子 印

出席理事 浜野 洋三 印